フェローズシュレッダー

SB-99Ci　取扱説明書・保証書

フェローズジャパン株式会社
〒141-0031　東京都品川区西五反田4-32-1　東京日産西五反田ビル2号館7F
TEL 03-5496-2401
www.fellowes.co.jp

目次

はじめに …… 1
安全上のご注意 …… 1
付属品の確認 …… 5
各部の名称 …… 5
設置 …… 8
設置場所に関する注意…… 8
本体の設置と準備…… 8
使いかた …… 9
細断できる物 …… 9
紙の細断 …… 9
CDやクレジットカードの細断 …… 11
安全にお使いいただくための機能(セーフセンス™) … 13
日常のお手入れ …… 14
細断くずを捨てる…… 14
インターロックスイッチ…… 14
ゴミ袋を使用する場合…… 15
シュレッダー専用オイルについて …… 15
本体外側のお手入れ…… 15
こんなときは …… 16
本製品が停止したときは(オーバーロードプロテクション機能)… 16
紙詰まりを起こしたときは…… 16
紙が押し戻されたときは…… 17
コントロールパネルのランプが点灯または点滅しているときは … 17
故障かな？と思ったら …… 18
製品仕様 …… 18
フェローズシュレッダー保証書 …… 19

はじめに

このたびはフェローズシュレッダーSB-99Ci(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は安心してお手軽にお使いいただけるシュレッダーです。
使用の前に必ず本書をよくお読みいただき、安全にお取り扱いください。また、本書はすぐ取り出せる場所に保管してください。

安全上のご注意

本製品の設置場所や電源に関するご注意など、使用前に知っておいていただきたい注意事項を記述しています。本製品を安全にお使いいただくために必ずお読みになり、注意事項をお守りください。

絵表示

本製品を正しくお使いいただき、お客様ご自身や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警　告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。
⚠ **注　意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

＜絵表示の例＞

気を付ける必要がある
ことを表しています。

してはいけないことを
表しています。

しなければならない
ことを表しています。

⚠ 警　告

子供使用禁止

●乳幼児や小さなお子様、ペットを近づけたり、近くで使用しないでください。
思わぬ事故の恐れがあります。
●絶対にお子様に触れさせたり、使わせたりしないでください。
やけど、感電、けがの恐れがあります。

手を入れるな

●細断中は紙から手を離してください。絶対に指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。特に、小さな紙を細断するときは注意してください。
紙と一緒に手が投入口に引き込まれ、けがをする恐れがあります。
●カッター部には絶対に手を触れないでください。
けがをする恐れがあります。
●投入口、排出口、機械内部には絶対に手や棒などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

衣類巻込み注意

●ネクタイ、ネックレス、服の袖や裾、ブレスレット、腕時計のベルトやチェーンなどを投入口やその近くにたらさないでください。
引き込まれてけがの原因となることがあります。

髪の毛巻込み注意

●髪の毛を投入口やその近くにたらさないでください。
引き込まれてけがの原因となることがあります。

可燃スプレーを使用しない

●可燃性のエアゾールスプレー(潤滑剤やエアダスター)などを吹きかけないでください。
スプレーから噴射された可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発を起こす恐れがあります。

コンセントを抜く

●作業が終わったら電源を切ってください。また、使用しないときはコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災や思わぬ事故の原因となることがあります。
●万一、発熱したり、煙が出たり、異臭がするなど異常な状態になったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
●万一、水などの液体や金属片などの異物が本体内部に入ったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。

禁止

●表示された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。
●タコ足配線をしないでください。
火災、感電の恐れがあります。
●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また、電源コードに重い物を載せたり、無理に曲げたり、引っぱったりしないでください。
火災、感電の恐れがあります。
●ボタン電池などの電池類は、絶対に投入しないでください。
電池が破損して火災が発生する恐れがあります。
●本製品が故障したり、一部が破損したまま使用しないでください。
けがや感電の恐れがあります。

分解禁止

●お客様ご自身による分解、改造、修理は絶対に行わないでください。
火災、感電、けがの恐れがあります。

濡れ手禁止

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

⚠ 注　意

注意

●本製品は紙専用のシュレッダーです(付加機能として、CDやクレジットカードの細断も可能)。他の用途には使用しないでください。ホッチキスは10号針まで、ゼムクリップは28mmまで細断可能です。それ以上大きいものは、必ず取り除いてから細断してください。
故障の原因になります。
●本製品は日本国内専用として製造、販売しています。日本国外で使用した場合のいかなる結果についても弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

安定した場所に設置

●水平で安定した場所に設置してください。
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に設置すると、落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。
●本製品は重心の位置が高いので、転倒に注意してください。万一、操作中に転倒した場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてから起こしてください。

アース線接地

●必ずアース線を接地(アース)してください。
●アース線は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。
●アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

●以下の物を投入しないでください。
·粘着シール、宅配便の送り状、各種テープ類など糊の付いた紙
·各種フィルム、ビニール、ポリ袋、OHPシート
·カーボン紙、インクリボン、新聞紙
·布類
·和紙など繊維の粗い紙
故障や詰まりの原因になります。

●濡れた紙や湿った紙を投入しないでください。
火災、感電の恐れがあります。

●細断してはいけない書類を投入口の近くに置かないでください。
誤って投入口に入り、細断される恐れがあります。

●直射日光のあたる場所に設置しないでください。
電子部品の誤動作や故障の原因となることがあります。

●熱器具に近い場所に設置しないでください。
本体のキャビネットや電源コードが変形して、誤動作や火災、感電の原因となることがあります。

コンセントを抜く

●本製品はコンセントの近くに設置してください。また、いつでも簡単に電源プラグが抜き差しできるように、コンセントの近くに物を置かないでください。

●電源コードは折ったり束ねたりせず、伸ばした状態で使用してください。
束ねたまま使用すると、過熱の原因になります。

●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持ってください。コード部分を持って引っぱらないでください。
コードが破損して、火災や感電の恐れがあります。

水をかけない

●本製品に水などの液体をかけないでください。
火災、感電の恐れがあります。

物を置かない

●本製品の上に花瓶や植木鉢、コップ、水の入った容器などを置かないでください。
転倒して本製品内部に水が入ると、火災、感電の恐れがあります。

●本製品の上に座ったり、乗ったり、物を載せたりしないでください。
けがの原因となることがあります。

設置環境に注意

●冷暖房機の近くや高温多湿になる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。

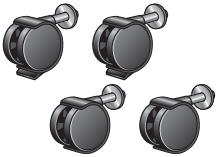
コンセントを抜く

●細断くずを捨てるときやお手入れをするとき、長期間使用しないとき、本製品を移動するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、感電の恐れがあります。

付属品の確認

●本体、専用ダストボックス

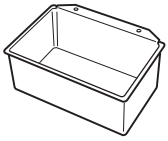
●キャスター



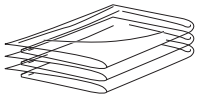
●ペーパーホルダー

●取扱説明書（本書）

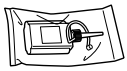
●メディアトレイ



●ゴミ袋



●シュレッダー
専用オイル（試供品）

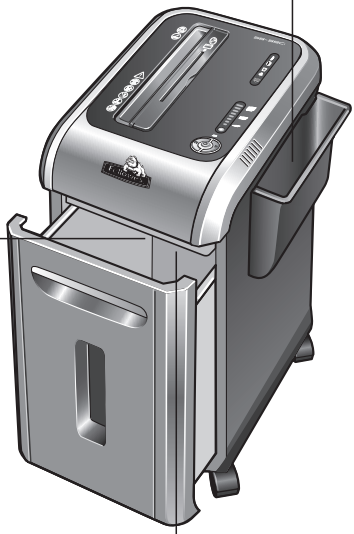


メモ 出荷前のテストで使用した用紙やCDのかけらが、排紙口やダストボックス内に残っていることがありますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

セーフセンス™スイッチ
セーフセンス™機能のオン/オフを切り替えます。（13ページ）

ペーパーホルダー
細断前の紙を一時的に置いておけます。



インターロックスイッチ
専用ダストボックスが正しくセットされているかどうか検知するスイッチです。本体内部前面にあります。専用ダストボックスの内側にある突起がこのスイッチを押すことによって本製品が使用できるようになります。
安全のため、専用ダストボックスが正しくセットされていないときは、カッターが回転しません。

●シュレッダー本体

セーフセンス™
投入口に手が触れるとセンサーが感知し、自動的にモーターがストップします。

ペーパー投入口
細断する紙を投入します。

CD/カード投入口
細断するCDやクレジットカードを投入します。

専用ダストボックス

キャスター
移動用にキャスターがついていますが、操作中は絶対に動かさないでください。

ジャム・プルーフセンサー
投入された紙の量を検知します。

CDフラップ
CDやクレジットカードを細断するときは、このフラップを閉じてCD/カード投入口から投入します。

オートセンサー
ペーパー投入口の中央にあるセンサーです。自動細断モードのとき、紙がペーパー投入口の中央を通過すると、センサーが反応してカッターが自動的に回転します。紙の細断が終わるとカッターは自動的に停止します。

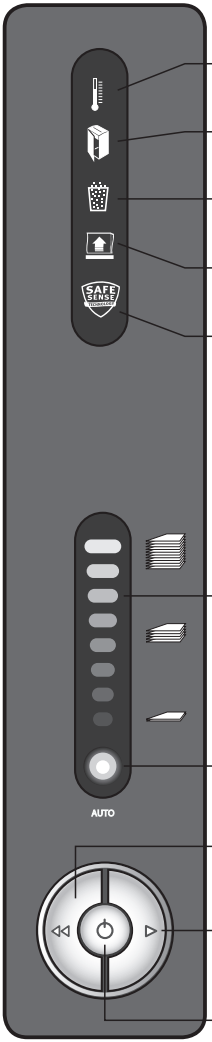
電源プラグ

アースリード線

主電源スイッチ
電源のオン/オフの操作を行うスイッチです。

コードラップ
使用しないとき、電源コードを巻き付けておくことができます。
※シュレッダー使用時は巻き付けないでください。

●コントロールパネル



オーバーヒートランプ(赤色)
連続使用時間を超えて使用した場合に点灯します。

半ドア警告ランプ(赤色)
専用ダストボックスが正しくセットされていないときに点灯します。

ゴミいっぱい警告ランプ(赤色)
専用ダストボックスが細断くずでいっぱいになったときに点灯します。

紙詰まり警告ランプ(赤色)
細断中の紙が詰まったときに点灯します。

セーフセンス・ランプ(黄色)
セーフセンスのセンサー作動状況をお知らせするランプです。(13ページ参照)

細断枚数インジケーター
ペーパー投入口に入れられた紙の量を、インジケーター表示で分かりやすくお伝えします。(10ページ参照)

オート(青色)
ジャム・プルーフ システム(紙詰まり防止機能)がオンのときに点灯します。

リバースキー(逆回転)
手動でカッターを逆回転させます。(16ページ参照)

フォワードキー(手動正転)
手動でカッターを正転させます。(17ページ参照)

スタンバイ(青色)
自動細断モードのオン/オフを切り替えます。
ランプが青色に点灯しているときは細断ができます。

設置

本体を設置し、使うための準備をします。

設置場所に関する注意

次の注意を守って設置してください。

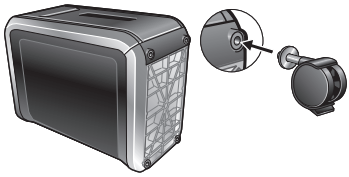
- ●電源プラグの抜き差しが簡単にできるよう、電源コンセントの近くに設置してください。
- ●水平な場所に設置してください。
- ●換気の良い場所に設置してください。
- ●壁や家具などからは10cm以上離して設置してください。
- ●小さなお子様やペットが触れて誤って作動しないよう、手の届かない場所に設置するか、使用後に主電源スイッチをOFFにしてコンセントから電源プラグを抜いてください。

本体の設置と準備

1 パッケージから本体を取り出します。

2 キャスターを取り付けます。

ストッパー付のキャスターを前部に取り付けてください。



3 背面の主電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントに接続します。

4 ペーパーホルダーを使用する場合は、本体側面に取り付けます。

左右どちらの側でも取り付け可能です。

使いかた

細断できる物

●紙（1度に細断できる枚数はA4コピー用紙17枚まで）

メモ 紙を折りたたんで投入する場合は、紙の厚みが増しますので、1度に細断できる枚数が減ります。

●CD、DVD

●クレジットカード、キャッシュカードなどのプラスチック製カード

●紙製カード

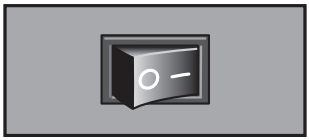
注意 プリペイドカードなどの薄型カードや定期券、運転免許証、ラミネート加工されたカードは細断できません。

注意 FD、MD、MO、ZIP、その他各種メモリーカードは細断できません。

注意 細断するCDやDVD、キャッシュカードなどの素材によっては、完全にバラバラにできないことがあります。ただし、その場合でもデータは破壊されていて修復できません。

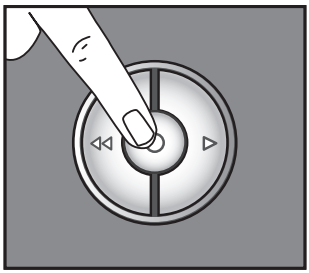
紙の細断

1 主電源スイッチをONにします。



2 スタンバイキーを押します。

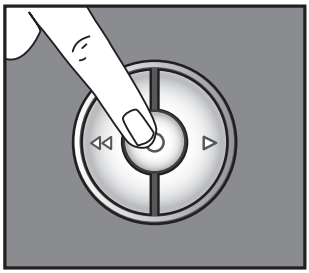
3 ランプ（青）が点灯して、自動細断モードになります。



4 ペーパー投入口に細断する紙をまっすぐに入れ、すぐに手を離します。

警告 紙を投入したらすぐに手を離してください。ずっと紙をつかんでいると、投入口に手が引き込まれ、けがをする恐れがあります。小さい紙を投入するときは特に注意し、絶対に指で押し込んだりしないでください。

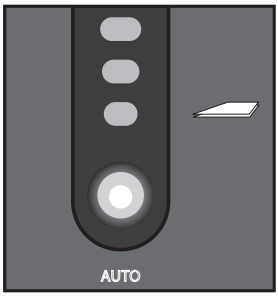
5 **細断が終了すると、自動的にカッターが停止します。スタンバイキーを押して自動細断モードをオフにします。**
ランプ(青)が消灯します。



6 **主電源スイッチをOFFにし、電源を切ります。**
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

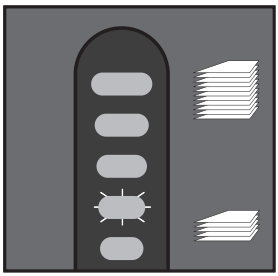
ジャム・プルーフ システム

細断枚数インジケーターのオートが青色に点灯しているときは、ジャム・プルーフ システム(紙詰まり防止機能)が作動しています。



投入された紙の量を細断枚数インジケーターがお知らせします。
規定の枚数以上の紙が投入された場合は、細断枚数インジケーターの赤いランプが点灯し、カッターが回転しません。

メモ 規定の枚数以内であっても、紙が折れ曲がるなどして投入する紙の厚みが増した場合、いったん細断作業を停止することがあります。5～10秒後、センサーが細断可能と判断したら再び細断作業を開始します。



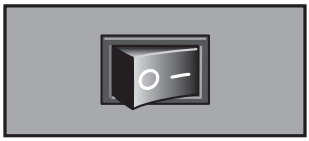
ジャム・プルーフ システムをオフにして使用する場合

1 **オートボタンを押しながら、リバースキー(逆回転)を押します。**

2 **青いランプが消えているときは、ジャム・プルーフ システムが作動しません。ジャム・プルーフ システムをオフにして使用中に紙詰まりが起きた場合は16ページを参照してください。**

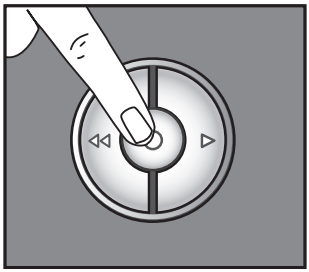
CDやクレジットカードの細断

1 主電源スイッチをONにします。

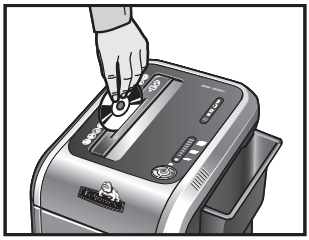


2 スタンバイキーを押します。

3 ランプ(青)が点灯して、自動細断モードになります。



4 CDフラップを閉じ、CD／カード投入口の中央に、CDやカードを1枚ずつ入れます。

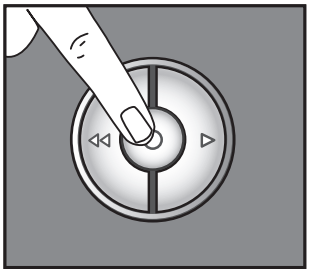


警告 CD、DVDを細断するときは上部をつまんで投入してください。
ディスクの中央の穴に指を入れて投入すると、ディスクが引き込まれるときにけがをする恐れがあります。

警告 CDやカードを細断するときは、必ずCDフラップを閉じてください。CDフラップを開けたまま細断すると、破片が飛んでけがをする恐れがあります。

注意 カードはCD投入口の中央に入れてください。端に入れるとオートセンサーが反応しない場合があります。

5 **細断が終了すると、自動的にカッターが停止します。スタンバイキーを押して自動細断モードをオフにします。**
ランプ(青)が消灯します。

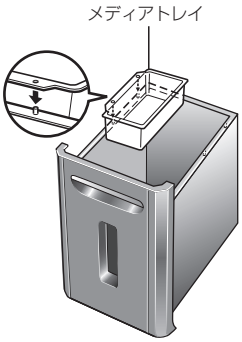


6 **主電源スイッチをOFFにし、電源を切ります。**
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

メディアトレイ

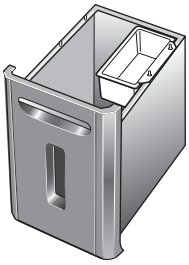
CDやカードを細断するとき、付属のメディアトレイを専用ダストボックスにセットすると、細断くずを紙とCD／カードに分別することができます。

メディアトレイをセットします。

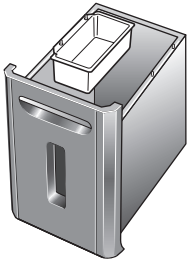


!注意

メディアトレイを左側にセットしたまま紙を細断すると、メディアトレイが紙の細断くずですぐにいっぱいになりますのでご注意ください。



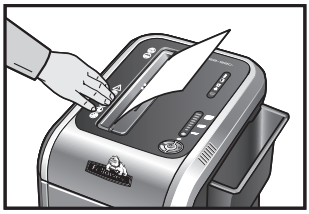
紙を細断するとき
メディアトレイを右側にセットします。



CD/カードを細断するとき
メディアトレイを左側にセットします。

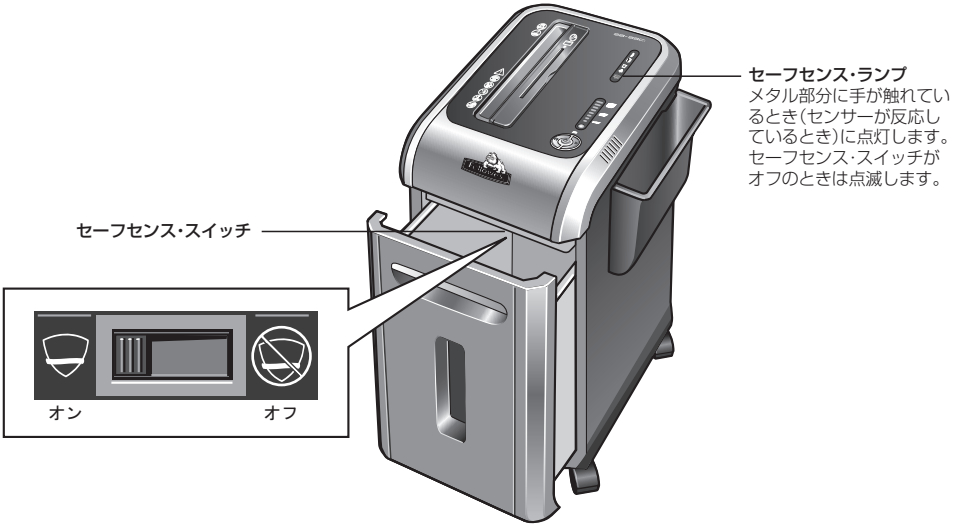
安全にお使いいただくための機能(セーフセンス™)

ペーパー投入口のメタル部分に手が触れると、人体から出る微弱な電流をセンサーが感知して、自動でカッターを停止します。



セーフセンス・スイッチ

通常ご使用になるときは、常にオンにしておいてください。詰まった紙を取り除くとき、場合によってオフにすることもあります。(17ページ参照)



!注意

次のような場合はセーフセンス機能が働きませんので、ご注意ください。(手が触れても止まりません。)

- ●セーフセンス・スイッチをオフにしている
- ●手袋などを着用している
- ●毛髪や体毛が金属部分に触れている
- ●極端な乾燥肌
- ●厚いゴム底の靴など、電気を通さない靴を履いている
- ●シュレッダーの上に乗っているなど、身体のどの部分も床に接していない

!注意

湿った紙は投入しないでください。感電の恐れがあります。また、セーフセンスが反応してカッターが止まることがあります。

日常のお手入れ

細断くずを捨てる

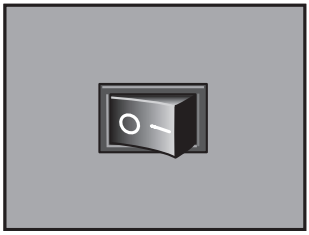
ダストボックスが細断くずでいっぱいになったら、次の手順で細断くずを捨ててください。

メモ 細断くずがたまったまま使用を続けると、細断くずがカッターに巻き込まれて故障の原因となる場合がありますので、早めの処分を心掛けてください。

メモ ダストボックスが細断くずでいっぱいになると、本製品は動作しません。このときゴミいっぱい警告ランプが点灯します。細断中であれば自動的にカッターが止まります。

1 背面の主電源スイッチをOFFにします。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

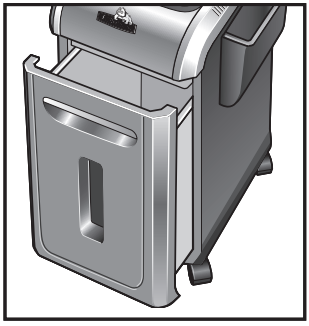


3 専用ダストボックス(引き出し)を取り出し、細断くずを処分します。

注意 細断くずは、各自治体の定める規定に従って廃棄してください。

4 専用ダストボックス(引き出し)を元どおり本体にセットします。

注意 専用ダストボックスが正しく閉じられていないと、電源をONにしても半ドア警告ランプが点灯して本製品は動作しません。

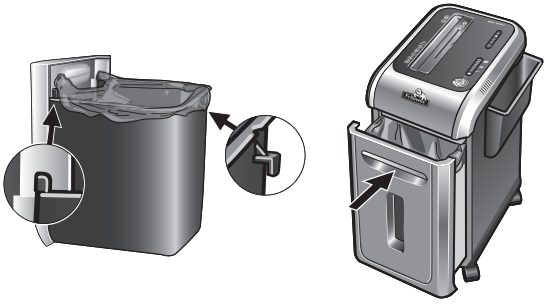


インターロックスイッチ

本製品は安全のため、専用ダストボックスが正しくセットされていないと作動しません。本体内部前面にインターロックスイッチがあり、専用ダストボックスの内側の突起がこのスイッチを押すことによって、本製品が使用できるようになります。

ゴミ袋を使用する場合

ゴミ袋を専用ダストボックスにセットして使用する場合は、ゴミ袋がインターロックスイッチの妨げにならないようご注意ください。

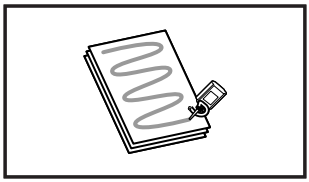


シュレッダー専用オイルについて

本製品にはシュレッダー専用オイルが試供品として同梱されています。カッターのお手入れは、この純正の専用オイルをご使用ください。

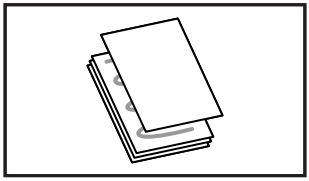
シュレッダー専用オイルの使い方

1 **コピー用紙3～4枚を重ねた後、一番上の紙に図のように専用オイルを塗ります。**



2 **オイルを塗った紙の上にもう1枚コピー用紙を重ねます。**

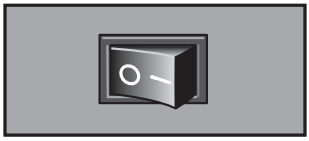
3 **できあがった紙をそのままシュレッダーにかけます。**



本体外側のお手入れ

1 **背面の主電源スイッチをOFFにします。**

2 **電源プラグをコンセントから抜きます。**



3 **本体の外側樹脂部を柔らかい布で乾拭きします。**

メモ 汚れがひどいときは、中性洗剤を少し布につけて拭いてください。

!注意 シンナーやベンジンなどの有機溶剤は変色、変形、傷の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

!警告 エアゾール式の潤滑油及びクリーナー等は絶対に使用しないでください。
マシン内部で引火し爆発や火災の恐れがあります。

!警告 カッターの刃には手を触れないよう、充分ご注意ください。

こんなときは

本製品が停止したときは(オーバーロードプロテクション機能)

本製品はモーターのオーバーヒートによる故障を防ぐための、オーバーロードプロテクションという機能を持っています。最大細断枚数(17枚)で20分間以上(ご使用の状況により前後する場合があります)の連続運転をしたり、用紙をかみこんでカッターの回転が止まってしまったときなどにこの機能が働き、モーターが停止します。

メモ このとき、オーバーヒートランプが点灯します。

このオーバーロードプロテクション機能が働き本製品が停止したときは、次の手順で操作してください。

1 主電源スイッチを「OFF」にします。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

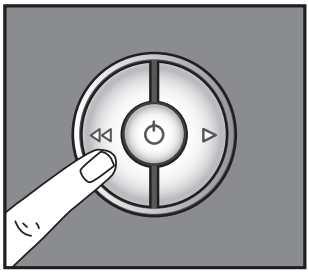
3 約40分、そのまま放置します。

4 電源プラグをコンセントに差し込みます。
主電源スイッチを「ON」にすれば、再び使用できるようになります。

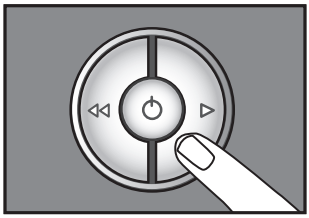
紙詰まりを起こしたときは

お使いの状況により、ペーパー投入口に紙が詰まり、細断が停止することがあります。
そのときは、次の手順で操作してください。

1 リバースキー(逆回転)を押したままにします。
カッターが逆回転し、詰まった紙を押し出します。このとき絶対に紙を引っ張らないでください。無理な力を加えると故障の原因になります。
しばらくカッターを逆回転させても紙が押し出されないときは、手順2に進んでください。



2 フォワードキー(手動正転)を押したままにします。
カッターが通常の方向に回転します。再び紙が詰まりそうであれば、フォワードキーから手を離してください。



手順1～2を繰り返し、紙を取り除きます。
このとき、投入口に手を触れる必要がある場合は、セーフセンス·スイッチをオフにし、セーフセンスを解除します。(13ページ参照)
紙詰まりが解消したら、必ずセーフセンス·スイッチをオンにしてください。

紙が押し戻されたときは

本製品に規定枚数以上の紙が投入されたとき、自動的にカッターが逆回転して紙を押し戻すことがあります。紙がペーパー投入口から押し出されたときは、紙を上から取り除いたあと規定枚数以内に分けて細断してください。

コントロールパネルのランプが点灯または点滅しているときは

		原因	対策	参照ページ
	点灯	連続使用時間を超えています。	主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。	16ページ
	点灯	専用ダストボックスが開いています。	専用ダストボックスを閉じてください。	14ページ
	点灯	ダストボックスにゴミがいっぱいになりました。	ゴミを処分してください。	14ページ
	点灯	紙詰まりが起きました。	手順に従って、紙詰まりを解消してください。	16ページ
SAFE SENSE TECHNOLOGY	点灯	セーフセンスが作動しています。		13ページ
	点滅	セーフセンス·スイッチがオフになっています。	専用ダストボックスを開け、前面のセーフセンス·スイッチをオンにしてください。	13ページ

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	参照ページ
動作しない	電源プラグはコンセントに正しく差し込まれていますか？	8ページ
	背面の主電源スイッチはONになっていますか？	9、11ページ
	コントロールパネルのスタンバイのランプ(青色)が点灯していますか？	9、11ページ
	ペーパー投入口やCD/カード投入口の中央に入れていますか？	9、11ページ
	紙詰まりが起きていませんか？	10、16ページ
細断が止まる・細断できない	紙を入れすぎていませんか？	9、10ページ
	投入口の幅より広い紙を入れようとしていませんか？	9、10ページ
	紙が斜めになっていませんか？	9、10ページ
	紙詰まりが起きていませんか？	16ページ

これらの確認をしても問題が解決しないときは、主電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社カスタマーサポート(TEL 03-5496-2401)までご連絡ください。

製品仕様

品名	SB-99Ci	連続使用時間	20分間
外形寸法	H640×W290×D450mm	投入幅	229mm
質量	17kg	細断サイズ	3.9×38mmクロスカット
電源	AC100V 50/60Hz	最大細断枚数	17枚(A4コピー用紙64g/㎡)
消費電力	600W	細断速度	3.7m/分
定格電流	6A		

Part No.403381 Rev.B SB-99Ci/0906